

令和7年第10回北塩原村議会定例会 一般質問通告一覧表

No. 1

質問通告者	質問事項
1番 鈴木安奈	<p>1 関係人口の創出を通じた地域課題への対応と地域活性化について</p> <p>当村は、磐梯朝日国立公園内に位置する裏磐梯・桧原地区をはじめ、大塩地区、北山地区も豊かな自然環境、農業用地に恵まれ観光や別荘利用、二地域居住など、多様な形で村外の方々と関わりを持てる可能性がある。一方で、村の人口は減少が続き、2025年11月1日時点で約2,342人、65歳以上の高齢化率も上がる一方である。</p> <p>こうした中で、単に「定住人口」を増やすだけではなく、村と緩やかに関わりながら村の活力維持や地域課題解決に繋がる「関係人口」を戦略的に創出し活かすことが重要であり、現在村が行っている関係人口創出のための取り組みと、関係人口を活かした取り組み、今後の計画について伺う。</p>
	<p>2 持続可能な地域づくりを実現するため男女共同参画社会を進めることについて</p> <p>全国的に、とくに地方において人口減少のスピードが加速し進む中、当村も人口減少を止めることは難しくなってきている。この厳しい状況の中で、男女がその性別に関係なく活躍できる社会をつくることは、地域活性化や担い手確保、高齢化対応など、多岐に渡り重要になってくる。「第1次北塩原村男女共同参画プラン」の進捗状況と、第1次プランの期限が2026年度までとなっているため、第2次策定に向けての準備と見通しについて伺う。</p>

令和7年第10回北塩原村議会定例会 一般質問通告一覧表

No. 2

質問通告者	質問事項
5番 伊藤敏英	<p>1 第五次総合振興計画の進捗状況について</p> <p>10年を期間とする第五次総合振興計画も、残すところあと約1年となりました。遠藤村長が半数以上関わってきた、村の最上位のこの総合振興計画が、この9年間で果たしてきた具体的な成果は何か、課題は何か、現在までの達成状況について伺います。</p> <p>また、2011年の地方自治法の一部改正により、総合計画の策定義務はなくなり、市町村の独自の判断に委ねられることになりました。廃止する自治体もあらわれてきたようです。村は今後もこの総合計画を続けるつもりのようですが、ならば今日総合計画の果たすべき役割は何か、続ける理由を示してください。</p>

令和7年第10回北塩原村議会定例会 一般質問通告一覧表

No. 3

質問通告者	質問事項
3番 柏谷孝雄	<p>1 耕作放棄地の発生防止と持続可能な農業の対策について</p> <p>農林水産省の調査で10年後の後継者が決まっていない、いわゆる後継未定農地が東北6県中、本県がワーストだったと公表されました。</p> <p>本村においても従事者の高齢化、後継者不足、担い手不足と農産物生産だけでなく耕作放棄地の拡大と環境維持を含め、多くの課題を抱える中、持続可能な農業に向けどのような対策を講じていくのか伺う。</p>
	<p>2 東京農業大学との今後の取り組みについて</p> <p>令和5年7月に東京農業大学との連携再確認を目的に訪問して早2年が経過をしました。そこで、この2年間の取り組みと今後、大学との連携においてどのような村づくりを進めていくのか伺う。</p>

令和7年第10回北塩原村議会定例会 一般質問通告一覧表

No. 4

質問通告者	質問事項
2番 遠藤康幸	<p>1 村の基幹産業である観光・農業の魅力発信について</p> <p>来年は、福島県単独で11年ぶりに「ふくしまディスティネーションキャンペーン（D C）」が開催される。</p> <p>村では、本年度はプレDCとして活動してきたと思うが、具体的にどんなことをやってきたのか、また、その効果としてはどうだったか、併せて令和8年度は本番となるが、どのような考え方で、どのような施策を考えているのか伺う。</p> <p>そして、県内に多くの観光客が来られているが、この機会を活かし観光・農業の村独自で体験企画を作成し魅力発信をすべきと思うが、村の考えを伺う。</p>

令和7年第10回北塩原村議会定例会 一般質問通告一覧表

No. 5

質問通告者	質問事項
6番 遠藤春雄	<p>1 物価高対応について</p> <p>政府は、11月21日に総合経済対策を示し、成長型経済に移行するとしている。物価高を乗り越える対策としては、足元の物価高への対応や地方の伸び代の活用と暮らしの安定、さらには中小企業・小規模事業者をはじめとする賃上げ環境整備等が上げられている。</p> <p>今後、重点支援地方交付金が拡充され、地方自治体が創意工夫をこらし、物価高対策への対応が求められると思うが、村ではどのような施策を考えているのか伺う。</p>

令和7年第10回北塩原村議会定例会 一般質問通告一覧表

No. 6

質問通告者	質問事項
4番 渡部 哲夫	<p>1 村の除雪対応について</p> <p>近年は降雪環境が、温暖化等の影響を受け雪が少なかつたり、大雪になったりと極端で、降雪予測が年々難しくなっております。そのため、大雪での除雪費に対する財政圧迫や、雪の排雪場の問題、住民の高齢化による除雪要支援世帯の高まり等も考えられます。</p> <p>そこで、村ではどのような除雪対応を考えているのか伺います。</p>